

6G



6Gに向けた3GPPの 無線アクセスの標準化動向

IEICE先端セミナーとは、電子情報通信分野の第一人者より入門者の方々へ向けて、グローバルに話題となっている最新技術を分かり易く解説したウェビナーです。

・受講しやすいスタイル

オンデマンドウェビナーなので、いつでも視聴することができます。

・1講義時間各60分程度（各講義は3部構成となっております。）

・デジタルバッジの付与－受講の証

すべての講義を受講し、設問をクリアできた受講生に対してはデジタルバッジが付与されます。

受講料（税込）

会員（正員）	13,420円
非会員（一般）	26,520円
会員（学生員）	3,520円
非会員（学生）	5,170円
維持員企業所属（4口以上）	12,100円
維持員企業所属（3口以下）	12,980円

コース詳細、受講申込みは
ホームページをご覧ください。

<https://qr.paps.jp/RQcGF>



コースのご紹介

中級

ITU-Rにおける6Gに関わる規格策定の枠組みに加え、WRC-27に向けた5G/6G等で用いる周波数選定の動向を紹介しています。3GPPにおけるRAN(Radio Access Network)の標準仕様について、Release 18を中心に、最新の技術内容及び動向を解説します。



第1回：Beyond 5G/6G時代に向けたITU-R動向
今田諭志講師（KDDI株式会社）

ITU-Rにおける6Gに関わる規格策定の枠組みに加え、WRC-23の結果を踏まえた、WRC-27に向けた5G/6G等で用いる周波数選定の取り組みについて理解する。



第2回：3GPP Release 18のRAN標準化動向
武田一樹講師（クアルコム）

2023年12月に3GPPで策定されたRelease18のRAN (Radio Access Network) 標準コア仕様について、物理レイヤに関連するアイテムを中心に概要および動向を理解する。



第3回：3GPPにおける無線インタフェースへのAI/ML標準化
山本哲矢講師（パナソニックホールディングス）

Release 18から検討が開始された無線インタフェースに関連するAI/ML (Artificial Intelligence / Machine Learning) 技術の適用について理解する。



第4回：3GPPにおけるNRサイドリンク標準化
鈴木翔一講師（シャープ株式会社）

3GPPにおけるNR (New Radio) Sidelinkの車両間通信 (V2X) 機能の標準化について、Release 16/17/18の概要を理解する。

こんな方におすすめ／

- ・既に無線アクセスに関する標準化活動に参加されている方
- ・今後、無線アクセスに関する標準化活動に関わろうと考えている方
- ・無線アクセス技術の標準化動向に興味のある方

お問合せ先：

電子情報通信学会 会員サービス課 service@ieice.org